

帯広
三条高

類型別探究活動導入へ

探究続ける人材へ

沿った「類型別探究活動」を開始する。在校生や卒業

る。

道教委・道CLASSP
プロジェクトの指定を受けて

生の進路動向をもとに6類型を設け、将来にわたり自主性を持って探究し続ける人材の育成を目指す。

いる帯広三条高校（合浦英
則校長）は、来年度から2
年生を対象に進路希望に

2年次に類型別探究活動を行うことで、今後学びたいことや就きたい職業など、将来を意識するきっかけをつくり、地域を軸とした1年次の探究活動と3年次の進路活動を結び付ける。

教職員がゼミ開設
生徒の主体性育む

類型別探究活動導入に向けて、現1年生はゼミ形式の探究活動を進めている。

前年度、堀口人士教諭が視察した他校の探究活動から着想を得て企画。年度当初から1学年を担当する教職員間で会議を重ね、企画の

趣旨や指導計画などの共通理解を図った。

地域や社会の出来事を自分事として捉え、自身の考えを表現する能力の育成を目指すし、学年の担当教員に加え、合浦校長自らゼミを受け持った。

観光業や産業、教育関係など、全15テーマの概要を各教員が生徒に説明し、生徒は興味・関心を持ったゼミを選択。コーディネーターが各ゼミの企画に沿った企業を選定し、連携・協力

力の交渉を担っている。堀口教諭は「情報収集の方法から自分たちで考え実行し、主体的な姿勢が見られる」と手応えを感じている。合浦校長は「2年生の活動は自分の将来により近づく。地域課題について考える1年生での活動の生かし方は様々」とし「生徒が将来、自主性を持って生きていけるよう、探究活動を通して意識付けを図りたい」と力を込める。

PICK UP

No.8

十勝



類型は①アート・表現②地域課題解決③教育・スポーツ④サイエンス&テクノロジー⑤看護・医療&地域支援⑥国際理解・人権の6つ。教育・スポーツ、看護・医療&地域支援では、現場の今日的課題を見つつけ、負担軽減に向けた解決策を高校生の視点で考える授業展開を想定している。